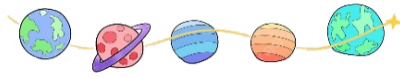




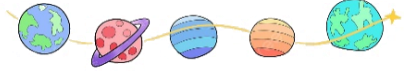
いっしょうけんめい 一笑懸命



2023 (令和5) 年7月19日
福山市立日吉台小学校
学年通信 No.10



音楽科 鑑賞の学習



音楽の時間に、管弦楽組曲「惑星」の中の「木星」という曲を学習しました。曲の構成と、曲想やオーケストラの響きの変化に気を付けて聴き、その特徴をまとめました。4つの部分の違いが分かるように、感じ取ったことや気づいたことを自分の言葉で書いています。

このように、国語科以外の学習でも、自分の考えや学んだことを書く活動を行っています。

「木星」は、大きく分けて4つの部分からできています。
はじめは迫力があり、力強いので、ゲームのオープニングの音楽みたいでした。
次は、最初とはまぎやくで、とてもゆっくりでしずかです。
そして、その次は、最初に返っていて、とてもはげしかったです。
最後は、イ（中間部）のメロディが出てきましたが、イとはちがいが、激しく力強く出てきました。
この曲は、全体的に力強い曲でした。でも、たまに静かなところもあり、そこが目立っていて、聴いてとても楽しかったです。
前原 鈴音

「木星」は、大きく分けて4つの部分からできています。
はじめは迫力があり、全体的に音が強くて大きかったので、激しく迫力があるように感じました。
次は、リズムがゆっくりで落ち着いていたけど、音ははっきりしていました。おだやかで美しいと感じました。
そして、はじめの旋律にもどりました。
最後は、曲の途中にイの部分（中間部）があり、激しく終わりました。
私は、おだやかなイの部分が、特に好きでした。
中西 優里菜

「木星」は、大きく分けて4つの部分からできています。
はじめの部分は、さまざまな旋律でできています。迫力があったり、きらきらしていたり、ずっしり重い感じだったりしています。
次は、平原綾香さんの「ジュピター」という歌にも使われている部分です。なめらかで、ゆっくりとした曲調が特ちょうです。
そして、1番初めと同じ曲調が繰り返されています。
最後は、激しく終わります。少し、「ジュピター」に出てくる旋律が出てくる部分がありますが、テンポアップしているように感じます。
この曲は、さまざまな曲調でできているので、とても雰囲気の良い曲だと思いました。
土屋 萌華

着衣泳について

本年度も着衣泳を行います。この学習は、衣服がどれだけ身体の自由を奪うのかを体験することで、いざという時に落ち着いて対応できる力をつけることを目的としています。準備物を確認し、当日までに準備をよろしくお願いします。

日時 7月24日（月）5時間目

準備物 水着・長袖（体操服でも可）・長ズボン（体操服かジャージ）

ビニール袋1枚（濡れた服を入れます） ペットボトル（あれば）

※プールカードはこれまで通り必要です。

